



九中だより

令和4年11月25日
府中市立府中第九中学校
校長 吉田 修
No.8

～人権感覚を高める～

校長 吉田 修

「バラのとげの痛みは、指に刺さった者にしか分からない」という言葉があります。バラのとげは、ほんの小さなとげですが、その傷みはとても鋭いものです。傍から見てみると、そんな小さなとげぐらいと思ってしまうことがあります。小さなとげがあるのは、花だけではありません。何気ない言葉や行動の中にも潜んでいます。「ことばの暴力」「いじわるな言葉」「机やノートに落書き」「人と違うことを笑ったりするからかい」「無視や仲間外し」「しゃべり方や動き方を真似するからかい」などです。

とげの刺さった痛みは、本人にしか分かりません。たとえ他人からは、取るに足らないものに思えても、大きなダメージを受けていることもあるはず。指に刺さるとげとは違い、心に刺さるとげは人それぞれ違います。自分は何も感じなくても、他の誰かに深く刺さる可能性もあるのです。そして、それはいじめになります。いじめられた人の心は、こんなふうにたくさんのとげが刺さっています。この心はこれからどうなるでしょう。心が引き裂かれたり、壊れたりしてしまうかもしれません。死んでしまう人、学校に来られなくなる人、家から出られなくなる人がいるのです。いじめのとげを抜かないといけません。でもいじめのとげはいじめられている本人は抜くことができないのです。どうやったら抜くことができるのでしょうか？それは、まわりの人が声をかけることでしょう。励ましてくれる人がいると、とげをぬくことができます。

いじめのとげが抜けた跡はどうなっていますか？穴の跡が残っています。全部抜いてもいじめの跡は残るのです。消えないのです。10年たっても、20年たっても、忘れることはできません。だから、いじめは絶対になくさなければいけないのです。

人権週間は、毎年12/4～12/10の1週間になり、その最終日である12/10が、「人権デー」と定められています。日本で人権週間が定められたきっかけは、1948年に開かれた国際連合の第3回総会です。その総会で世界の自由・正義及び平和を守るため、すべての人民とすべての国が達成すべき共通の基準として、世界人権宣言が採択されたことに由来します。人権とは、一人ひとりが生まれた時から持っている「自分らしく生きる権利」のことです。一人ひとり、みんな違うように、全部同じ人などは誰もいません。人権週間とは、一人ひとりの違いを個性として認め合い、それぞれの良さをうまく生かすことで、お互いがかけがえのない大切な存在であることを改めて理解する期間となります。

21世紀は「人権の世紀」とも言われています。そしてそれは国内にとどまることなく、世界基準としても必要な意識となります。世界には色々な文化、言語、様々な暮らしがあります。その違いの中で生きている人たちは、みんなそれぞれ同じ「一人の人間」として、人権をもっているということです。

これから私たちが生きるグローバルな社会では、多様な人たちと協力し合いながら色々な活躍ができることが重要になり、そのためにはお互いの人権をしっかりと理解して、認め合うことを実践できる力が必要になります。毎日の学校生活や普段の生活の中で自分自身の人権意識を高め、そして周りの人達をも巻き込む力を発揮してくれることを大いに期待しています。

九中体力向上月間について

年度当初に実施した体力テストの九中生の平均値を見ると、4月当初目標としていた「全項目全国平均値以上」にはいくつかの項目において達成できていませんでした。特にハンドボール投げと上体起こしが本校の課題として挙げられます。この結果を受けて、10月31日(月)から『体力向上月間』とし、体力テストの全項目の向上を図ることにしました。

なお、体力テストの第2回測定時期は12月上旬の予定です。ご家庭でも少しの時間でも良いので、体力向上を目指して意欲的に取り組んでいけるよう、保護者の皆様のご協力よろしくお願いたします。また、昼休みのボール貸し出し率も以前に比べて減少しています。昼休みは積極的に校庭に出て体を動かし、体力向上に励みましょう！

表彰 おめでとうございます

第63回 市民体育大会 秋季大会

令和4年11月13日

〈バドミントン〉	1年生	女子シングルス	1年D組女子	第3位
	2・3年生	女子シングルス	2年C組女子	第3位
	1年生	女子ダブルス	1年A組女子	優勝
			1年B組・D組女子	準優勝
			1年A組・B組女子	第3位
	2・3年生	女子ダブルス	3年A組・B組女子	優勝
	1年生	男子ダブルス	1年B組男子	準優勝
			1年A組・B組男子	第3位
	中学校対抗	女子		優勝
	〈剣道〉	中学校対抗	男子	
〈陸上〉	1年男子 100m	記録 12秒 03	1年D組男子	優勝

～感謝状をいただきました～

